

02 相手との理解しやすい点・すれ違いやすい点を知る

入力内容

あなたのスコアは、A：70*、B：60*、C：40、D：30です。

相手のスコアは、A：30、B：40、C：60*、D：70*です。

※「*」は、48点以上の優勢脳を示します。

相手との関係：上司

生成A I からの回答

◆ 理解し合いやすい点・補い合える点

あなたと上司は、共通する優勢脳がないため、自然に理解し合いやすい点は多くありません。あなたは事実や根拠、手順を重視しやすく、相手は全体像や可能性、人への影響を重視しやすい組み合わせです。

あなたはA70とB60から、筋道を立てて考え、根拠を確認しながら着実に進める傾向があります。相手はD70とC60から、先の展開や選択肢を広く見ながら、人や場の反応も含めて判断しやすい傾向があります。

普段の関わりでは、あなたが現実的な整理や実行の確かさを支え、相手が方向性や周囲への伝わり方を広げる形で補い合える可能性があります。違いが大きい分、うまく噛み合うと「考えを広げる力」と「形にして進める力」が両方そろいやすくなります。

◆ すれ違いやすい点

違いが出やすいのは、話を始める順序です。あなたは「根拠、条件、手順」から入ると安心しやすく、相手は「全体像、目的、人への影響」から入ると受け取りやすい可能性があります。

そのため、あなたが細かく正確に説明しているつもりでも、相手には結論や方向性が見えにくく感じられることがあります。反対に、相手が可能性を広げて話しているとき、あなたには決定事項や具体的な進め方がまだ曖昧に見えることがあります。

難易度はやや高まりやすい組み合わせですが、相性が悪いという意味ではありません。最初に相手が受け取りやすい入口を作り、その後であなたの得意な根拠や段取りを添えると、普段のやり取りはかなり整いやすくなります。

◆ お互いにどう見えやすいか

あなたから相手を見ると、話が大きく広がったり、人や将来への影響を先に見たりするため、「具体的には何をすればよいのか」を確認したくなる場面がありそうです。

相手からあなたを見ると、根拠や手順を丁寧に押さえて進める一方で、最初の段階では「どんな方向にしたいのか」「周囲にどう響くのか」をもう少し聞きたいと感じる可能性があります。

◆ コミュニケーションを取りやすくする工夫

1. 全体像を先に置いてから根拠を出す

報告や相談では、最初に方向性を一言で伝えてから、根拠や手順に入ると伝わりやすくなります。「まず全体像からお伝えすると、目指したい方向は〇〇です。その根拠は3つあります。」

のように始めると、相手が話の位置づけをつかみやすくなります。

2. 目的と人への影響を添える

あなたの説明に「何のためか」「誰にどう関係するのか」を加えると、相手の関心に接続しやすくなります。たとえば提案時は、数値や手順だけでなく「これにより関係者の迷いを減らせます。」のように影響面も一言添えるとよいでしょう。

3. 決めたいことを先に確認する

話が広がりそうな場面では、最初に相談のゴールを確認しておくとうれしいです。「今回のゴールは、方向性の確認で合っていますか？」や「今日は決定まで進めますか？」と聞くことで、あなたも相手も同じ目的で話しやすくなります。

4. 広がった話を要点に戻す

相手の発想が広がったときは、すぐに止めるより、一度受け止めてから整理すると噛み合いやすくなります。「今のお話を整理すると、優先したいのは〇〇で、次に確認するのは△△ですね」のようにまとめると、会話を前に進めやすくなります。

5. 次の行動を最後に言葉で合わせる

会話の最後には、あなたの得意な段取りの力を使って、決定事項と次の動きを確認しましょう。「では、私は〇日までに資料を整え、相手には方向性の確認をお願いする、で進めます。」のように締めると、認識のずれを減らせます。

ご利用にあたって

同じスコアや入力内容であっても、生成される回答は毎回同じになるとは限りません。
日を改めて利用することで、別の視点や回答を得られる場合があります。

生成AIの回答は、正解としてそのまま使うのではなく、実際の相手や場面を踏まえながら、ご自身の判断材料としてご利用ください。

利き脳（思考特性）は、環境やトレーニング、役割などによって変化します。より現在の状況に合った回答を得るため、年1回程度を目安に再受検することをおすすめします。

関連資料・サービス



ガイドブック | デジタル版

診断結果の見方や、各タイプの特徴を
確認したい方はこちら



b-partners.co.jp

1-6466-1111 / 01-6466-1111



生成AI活用サービス

別のテーマで試したい方や、
もう一度利用したい方はこちら



b-partners.co.jp

1-6466-1111 / 01-6466-1111



生成AI活用ガイド

ご自身の生成AIを使って、診断結果を
活用するための豊富な入力例はこちら



b-partners.co.jp

1-6466-1111 / 01-6466-1111